



※ちけん君

号外

# 臨床研究 NEWS LETTER

号外 2014/10/25

山梨大学医学部附属病院 臨床研究連携推進部 山梨県中央市下河東 1110 <http://www.clinicaltrial-management.jp/>



## 「治験」ってなあに？

「治験」とは、新しいくすりを、国（厚生労働省）から認めてもらうため、必要な資料を集めることを目的とした臨床試験のことです。

新しいくすりの誕生に欠かせない「治験」。まだ、治療薬のない病気のくすりや、より良い新しいくすりを作り出すために、欠かせないプロセスです。

くすりは長い年月と、多くの費用、たくさんの方々の協力によって、初めて誕生するものです。ひとつのくすりができる成功率は約31,000分の1※とも言われています。

※日本製薬工業協会ホームページ

### 当院で実施された治験（平成25年度）



診療科	対象疾患	継続試験数	新規試験数
第一内科	C型慢性肝炎	6	2
	慢性肝炎患における血小板減少		1
第二内科	慢性心不全	1	
	発作性/持続性心房細動	1	
	高脂血症患者における心血管イベントの予防		1
神経内科	脊髄小脳変性症（純粋・非純粋小脳型）		3
	レビー小体型認知症	1	
血液・腫瘍内科	真性多血症	1	
	腫瘍崩壊症候群		1
小児科	小児糖尿病	1	
	小児1型糖尿病	1	
	小児注意欠如・多動症（ADHD）		2
皮膚科	水疱性類天疱瘡	1	
	悪性黒色腫	1	1
	乾癬（尋常性乾癬及び関節症性乾癬を含む）		1
麻酔科	全身麻酔	1	
眼科	網膜色素変性	1	
	糖尿病性黄斑浮腫	1	
泌尿器科	透析シャント静脈閉塞	1	
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	ダニアレルギー性鼻炎・喘息	1	
合計		19	12

山梨大学医学部附属病院では、開院当初より「治験」が行われてきています。C型肝炎、小児てんかん、過活動膀胱、パーキンソン病、糖尿病などを対象とした「治験」を行い、多くの患者さんの治療に使われている「くすり」が誕生しています。

くすりが生まれるまで



くすりのもとの発見（基礎研究）

2～3年

動物で試験（非臨床試験）



3～5年

効き目や副作用を調べる（治験）

3～7年

国に確認してもらう（承認申請）



1～2年

くすりの誕生

### 医学祭講演会のお知らせ

「薬を創る、育てる

～皆さんの「絆」で、良い薬を日本から～

日時：10月26日（日）

12：20～13：20

場所：講義棟 1103 教室

講師：東京医科歯科大学 小池竜司先生

本学 岩崎甫先生



私たち、全力で「治験と臨床研究」を支援しています！

※「ちけん君」は日本医師会治験促進センターの治験啓発マスコットキャラクターです。



臨床研究連携推進部：055-273-9325